

仙台市交流人口ビジネス活性化戦略 ～日本一の体験都市を目指して～

【戦略の目的】 2020年の東京オリンピック・パラリンピックを一つのターゲットとし、交流人口のさらなる拡大を図るとともに、誘客を消費に結びつけ、地域経済活性化につながる施策を集中的に展開する。また、観光のみならず交流人口に関わる幅広い業種を「交流人口ビジネス」と位置付け、その育成・活性化を図る。

【対象期間】 2019年度～2021年度（3年間）

【取組みの視点】

交流人口拡大

- ◆ 地域を活性化するためには、さらなる交流人口の拡大が重要。
- ◆ 2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは国内外から多くの旅行者が来訪し、仙台・東北へのさらなる誘客と周遊促進が期待できる。

消費拡大

- ◆ 交流人口拡大のみならず、来訪者の市内での消費を増やす取組みが必要。
- ◆ 仙台により長く滞在していただき、より多くの商品やサービスを消費いただくことや消費単価を上げることにより、消費拡大が期待できる。

地域経済活性化

- ◆ 人口減少社会の中で地域の活力を維持、発展させるためには、経済の活性化が不可欠。
- ◆ 裾野が広く、幅広い分野に効果が及ぶ「交流人口ビジネス」を活性化させることにより、東北全体に経済効果を波及させることが重要。

【今後の方向性】

方向性1

マーケティング戦略

- ◆ 多様化するニーズや市場動向を的確に把握し、事業を推進する。
- ◆ ターゲットを明確にすることで、効果的、効率的な取組みを行う。

方向性2

コンテンツ重視

- ◆ 従来型の観光資源だけでなく、多彩なコンテンツの創出・磨き上げを行う。
- ◆ 仙台・東北の魅力を活かし、コンテンツを重視した取組みを推進する。

方向性3

事業者育成・支援

- ◆ 経済波及効果を市内全域に波及させるため、多様な事業者の参画を促す。
- ◆ 事業者、関連団体等との連携により、地域経済の活性化につなげる。

目指す姿

多くの人が行き交う、魅力と活力にあふれるまち・仙台

【数値目標】

2021年までに宿泊者数を、過去最高の **600万人泊** へ

仙台市交流人口ビジネス活性化戦略 ～日本一の体験都市を目指して～

【6つの重点プロジェクトと施策】

重点プロジェクト1

日本一の体験プログラム創出

施策1

新たな体験プログラムの発掘・創出

施策2

仙台ならではの観光資源の磨き上げ

施策3

旅行者のニーズに合わせた多彩な体験プログラムの創出・提供

重点プロジェクト2

宿泊促進・閑散期誘客

施策1

早朝や夜間のコンテンツ創出・活用

施策2

閑散期や平日への誘客促進

施策3

市内回遊および消費促進

重点プロジェクト3

交流人口ビジネス・イノベーション

施策1

事業者の新たな取組みの表彰

施策2

起業支援および他業種からの参入促進

施策3

中核的な人材の育成

重点プロジェクト4

ターゲット重視型マーケティング

施策1

ターゲットを明確化したプロモーション

施策2

多様な顧客ニーズに応じた効果的な情報発信

施策3

インバウンド・アウトバウンドの促進

重点プロジェクト5

ビジターズ・フレンドリー仙台

施策1

観光地へのアクセスおよび市内の回遊性の向上

施策2

快適な滞在環境づくりの推進

施策3

旅行者の満足度を高める「おもてなし」サービスの向上

重点プロジェクト6

東北ゲートウェイ推進

施策1

東北の魅力発信機能の強化

施策2

東北一体となったプロモーションと受入環境整備

施策3

東京オリンピック・パラリンピック等の機会を捉えた誘客促進